

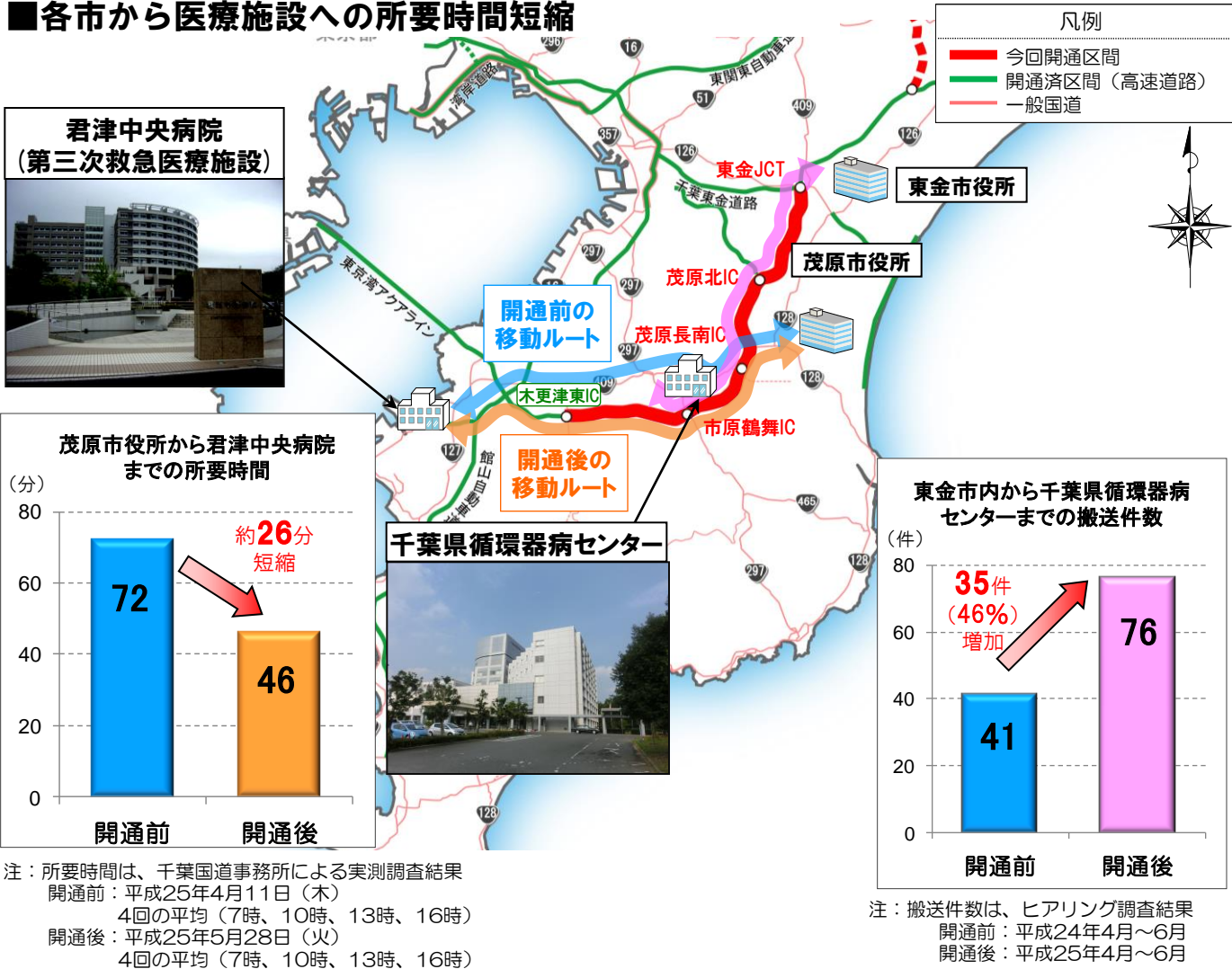
救急医療活動への支援

圏央道の開通により、第三次救急医療施設や専門性の高い病院への所要時間が短縮。

- ・圏央道の利用により、茂原市役所から君津中央病院（第三次救急医療施設※）までの所要時間が約26分（72分→46分）短縮、東金市内から千葉県循環器病センターへの搬送件数が35件増加しました。
- ・また、道路線形の良い、圏央道を搬送ルートとすることで、患者に対する負担軽減にも繋がると実感されています。

※ 第三次救急医療施設：重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供できる機能を有する病院

■各市から医療施設への所要時間短縮



消防関係者の声

開通前は、茂原市から君津中央病院へアクセスするには国道409号を使用していたが、道路線形が悪く、応急処置のしにくさや患者への負担が大きいと、他の病院への搬送もしていました。

圏央道開通後は、圏央道を利用して、**患者さんをより早く病院へ搬送することができるようになりました。**また、**道路線形も良いため、患者さんへの負担も軽減されます。**

出典：消防関係者へのヒアリング調査（平成25年7月実施）



病院関係者の声

当病院では、圏央道の開通により搬送時間の短縮が見込めることから、広域消防本部へ対し救急患者の搬送を増やしていただくよう声をかけました。これまで山武地域から当病院までの**搬送時間が約1時間であったところ、約30分に短縮されました。**

救急患者の疾患状況によっては、**搬送時間の短縮により救命率が向上するため、圏央道開通による効果は大きいもの**と感じております。

出典：病院関係者へのヒアリング調査（平成25年10月実施）